

8223036 栗山淳

熱力学1 課題

まど☆マギの世界では、宇宙全体でのエネルギー減少を補うために、魔法少女の感情エネルギーを利用しています。具体的には、キュゥべえ（インキュベーター）が魔法少女たちと契約を結び、彼女たちの希望や絶望といった強い感情からエネルギーを抽出しています。魔法少女が魔法を使用する際や、絶望によって魔女化する過程で発生する感情エネルギーは、非常に高エネルギーなものであり、宇宙のエントロピー増大によって宇宙を維持するためのエネルギーがなくなり、宇宙が死を迎えないための貴重なエネルギー源となるのです。

キュゥべえたちインキュベーターは、感情エネルギーを効率的に収集するために、特に思春期の少女たちを対象に契約を持ちかけます。この年齢の少女たちは感情の変動が激しく、希望や絶望といった強烈な感情を抱きやすいため、効率的に高エネルギーを得ることができます。魔法少女が絶望に陥り魔女化する際には、膨大な量のエネルギーが放出され、これがインキュベーターたちに回収されます。

このエネルギー収集の仕組みは、魔法少女たち個々の感情と宇宙全体のエネルギーバランスを直結させるものであり、魔法少女たちの犠牲と引き換えに宇宙の秩序が維持されていると言えます。

ここで私がエントロピー増大の一例だと考えるものは魔法少女が魔女になることかなと思います。なぜならばエントロピー増大の法則とは物事は放っておくと乱雑・無秩序・複雑な方向に向かい、自発的に元に戻ることはないということを表しており、これは魔法少女が最終的には自発的に魔女になり、魔女から魔法少女に戻る手段は存在しないということと同じに感じたからです。